

エコネット近畿 ECONET NEWS

近畿の環境 NPO
つぐ・つながる・むすびあう
そして未来へ



第 12 回環境市民活動のための助成金セミナー 開催当日の様子

[2016 年 11 月号]

編集・発行: 特定非営利活動法人近畿環境市民活動相互支援センター(エコネット近畿)
〒530-0041 大阪市北区天神橋 2 丁目北 1-14 サンプラザ南森町 401
Tel:06-6881-1133 Fax:06-6949-8288 E-mail:jimukyoku@econetkinki.org Web:
<http://econetkinki.org> <http://cleanup.econetkinki.org>

一般財団法人セブン-イレブン記念財団助成事業

第 12 回 環境市民活動助成金セミナー

<開催概要>

- 【日時】9月24日(土) 13:00~17:00
- 【会場】京エコロジーセンター 視聴覚室
- 【主催】エコネット近畿、セブン-イレブン記念財団
- 【共催】公益財団法人 京都環境保全活動推進協会
- 【後援】京都府
- 【参加者数】19名

8割が大阪(45%)、京都(33%)の団体でした
セミナーへの新規参加者:64%

<実施内容・プログラム>

○第1部 助成申請書模擬審査ワークショップ

ファシリテーター:エコネット近畿理事 宮嶋啓太

最初に、各団体の「財源」について棒グラフで視覚化し、資金調達で抱えている課題について意見交換をした後、「助成金の活用」をおさらいしました。

また、簡易申請書に記入・発表し、助成財団担当者やグループのメンバーから、感想やアドバイスをいただくなどブラッシュアップを図りました。

専門用語の多用など、申請書の提出前の第3者チェックが有用であることがわかりました。

○第2部 助成団体担当者による助成制度説明

6つの助成団体担当者から制度の変更点や申請のポイント、審査基準等をお話いただきました。

<参加助成財団>6団体(全国5、地域限定1)

- ・(独)環境再生保全機構「地球環境基金」
- ・(公財)河川財団「河川基金」
- ・(公財)自然保護助成基金

「プロ・ナトゥーラ・ファンド助成」

- ・(株)ラッシュジャパン「チャリティバンク」
- ・(一財)セブン-イレブン記念財団

「2017年度環境市民活動助成」

- ・京都府「地域力再生プロジェクト」

○第3部:個別質問会

助成財団担当者に直接個別質問頂きました。

- <配布資料>
- ・参加助成団体の制度資料
 - ・環境分野 助成制度一覧 2016

<アンケートより>

- ・資料が充実していた。
- ・個別質問会がよかった。来てよかった。
- ・ポイントが明確に説明された。

一般財団法人セブン-イレブン記念財団助成事業

第12回近畿の環境団体情報交流会

～キラリ！未来へつながる2日間～

6月24日(金)・25日(土)生駒山麓公園ふれあいセンター(奈良県生駒市)にて、近畿の環境団体情報交流会を開催しました。1泊2日にも関わらず、近畿ならびに東京など遠隔地から73団体・90名もの環境活動団体や個人に参加いただきました。

1日目は、エネルギー、自然保護・保全活動、子どもの環境教育、食と農、ごみ・リサイクル等の55の活動事例発表と質疑応答、2日目は、参加者募集テーマを含む8テーマの分科会に分かれ互いに意見交換をしました。

参加者からは、「連携団体が見つかった」「実務につながるヒントをいただいた」との声が寄せられ、本交流会の目的とする「近畿の環境団体が互いの活動内容を共有し、出会う場の提供」について、一定の成果を得ることができました。

<開催概要>

【日時】6月24日(金) 12:30

6月25日(土) 15:00

【会場】生駒山麓公園ふれあいセンター(奈良県)

【主催】エコネット近畿、セブン-イレブン記念財団

【企画・運営】近畿の環境団体情報交流会実行委員会 2016
足立哲(はちのじ) 石崎雄一郎(京のアジェンダ21フォーラム)、
岡見厚志(World Seed) 数井美智子(自然倶楽部I)
栗本知子(あおぞら財団) 正阿彌崇子(ジュゴン保護キャンペーンセンター)
寺川裕子(里山倶楽部) 中島秀和(Bee Forest Club)
新田章伸(里山倶楽部) <実行委員長>

久 隆浩(近畿大学総合社会学部) 松田莉奈(はちのじ)
宮嶋啓太(ナック(NAC)) 渡辺拓人(エコ・リーグ関西事業部)
韋菁華(エコネット近畿) 辻郁子(エコネット近畿)

【後援】大阪府、京都府、滋賀県、奈良県、兵庫県、和歌山県、
大阪環境パートナーシップネットワーク「かけはし」

【参加者数】90名

<実施内容>

1日目

1.参加者交流(アイスパレイク)

本交流会の開催趣旨説明後、互いを知る交流の時間をもちました



2.活動事例発表：4つの部屋に分かれ、55団体が

10分ずつの活動事例紹介を行いました。



3.交流会：日頃の活動では出逢えない団体や世代の生の声を聞く、宿泊だからこそその貴重な時間。和やかな雰囲気に参加者同士意見交換を行いました。

2日目

1.テーマ別分科会

(テーマ)8テーマ

- ・若者の参加を増やそう
 - ・地域とつながる
 - ・地域がつながる*1
 - ・これも環境問題！はざまの課題①②
 - ・子ども、子育て世代に今何を*2
 - ・日常の消費と地球のつながり
 - ・事務局スタッフ集まれ！(*1,2参加者募集テーマ)
- 実行委員がファシリテーターを担当。ロールプレイ、ワークショップ、ミニ講義を交え情報共有しました。



2.全体会：2日間をふりかえり、今後の活動のステップアップに繋げるため互いの気づきを共有しました。

3.閉会 参加者全員、笑顔で記念撮影。

<アンケートより>

環境分野の方が大半でしたが…

- ・環境についてもっと知りたいと思えた。
- ・いろんな出会いがあり充実した。
- ・様々な分野の活動を知ることができ有意義だった。

環境分野以外の方からは…

- ・「IT、まちづくり」も環境と結びついている

みなさん共通して…

- ・他の参加者と交流が深まった。
- ・新しいつながり、アイデア、考えを整理できた。
- ・交流会でないと出会えなかった世代の話が聞けた。



■エコネット・カフェ

・第27回「ボランティアから事業展開へ ～学生時代に得た繋がりから見えてきたコト～」

【日時】4月27日（水）18：30～20：30

【お話】矢裂 淳さん（道草寺子屋 代表）

【参加者数】8名（定員15名）

【内容】近畿大学の大学院生、大阪市都島区で「道草寺子屋」の代表として活動されている矢裂淳さんにお話いただきました。

「生まれ育った地元の商店街のために何かしたい」という思いで、自身の活動経験を活かし、またそこから得たつながり



により、2013年10月に地元の大阪市都島区の桜通り商店街の空き倉庫を改装し、「子どもたちのよりどころになるような」道草寺子屋を開設しました。寺子屋の開設経緯・拡大、子ども教育に繋がる独自の学習スタイル、学生ボランティアの必要性・持続的に集めるコツまた実践中の悩み新しい発見を、参加者の皆様と共有しました。



お話の後、皆さまは子育てで支援、子どもの教育環境、斜めの関係、地域ニーズなどについて、それぞれの熱い思いを語り合っ、とても有意義な意見交換ができました。

・第28回「見えない油『パーム油』 ～日本の消費とボルネオの熱帯林破壊のつながり～」

【開催日時】7月15日（水）18：30～20：30

【お話】石崎雄一郎（ウータン・森の生活を考える会 事務局長）

【参加者数】8名（定員15名）

【内容】ウータン・森と生活を考える会事務局長 石崎雄一郎さんに、「見えない油『パーム油』」をめぐって、ボルネオの熱帯林破壊と私たちの暮らしとの関連について、お話いただきました。

まずは、現地の写真を見ながら、身近な食品や洗剤などのものが、パーム油との関係またそれにつながる熱帯林破壊⇒オランウータン等の動植物の行き場の消失、先住民の持続可能な生活への脅威のお話を伺いました。

その後、グループ別のボルネオについての〇×クイズと「ロールプレイ」を通じて、参加者の皆さまは、「政府」・「食品洗剤会社」・「プランテーション会社」・「NGO」・「先住民」を演じ、それぞれの立場か



・第29回「大学生と地域が協働する伏見のヨシ原の保全活動」

【開催日時】10月7日（金）18：30～20：30

【お話】龍谷ODEN（龍谷大学 学生団体）

【参加者数】7名（定員15名）

【内容】龍谷ODENの3名の学生代表に、地域の住民団体や山城萱葺屋根株式会社との協働活動を通じて保全活動・生物調査・環境イベントの展開・ヨシ商品の開発などについてお話いただきました。

（補足：当日、「ODEN」という名前の由来は究明されました。学生は、金先生が作られた中華風の「おでん」が美味しかったことから、名付けたそうです。また「ODEN」の「O」はアルファベットの「O」ではなく、数字の「0」で、ゼロからスタートという意味。）



○平成28年度 エコネット近畿 総会 ご報告○

【日時】平成28年5月22日（日）15：00～16：00

【場所】おおさかATCグリーンエコプラザ多目的ゾーン（大阪市住之江区南港北2丁目1-10ATC ITM 棟11F 西側）

【出席数】37名（総社員数54名） 【審議事項】平成27年度事業報告書及び活動計算書・監査報告、平成28年度事業計画書（案）及び活動予算書（案）、会員の入会金及び年会費に関わる規程変更のすべてが可決されました。今回の会員に関する規程変更の主なポイントは、新規入会時に徴収していた入会金（正会員の場合）の廃止、年会費を入会月の月数割ではなく、前期（4～9月）入会者は全額、後期（10～翌3月）入会者は半額とする点です。新たな会員特典も！ぜひ、ホームページでご確認ください。

環境 NPO のためのスキルアップセミナー ～「伝えたい人」に「伝えたいコト」を届ける スキルアップの3日間～

・第1回 「あなたの団体に適した資金調達法はどれ？環境活動に必要な資金調達のノウハウ」

【日時】10月13日(木) 18:30～21:00
【場所】大阪市立総合生涯学習センター第8研修室
【講師】寺川裕子さん(里山倶楽部理事・事務局)
【参加者数】10名(定員20名)

【内容】ミニ講座、ワークショップ、意見交換

- ①資金調達いろいろ
- ②基礎となる構想、企画の話
- ③グループワーク(企画書作成練習)

助成金、プロボノ、クラウドファンディング等様々な資金調達法の紹介。いずれも共通点は、いかに「魅力的な企画」で「資金提供者の心をつかみ」「わかりやすく伝えられるか」。企画書の「第三者視点チェック」がポイント。



第2回「仲間が集まる！活動が伝わる！

共感を生み出す三つ折りリーフレットづくり」

【日時】11月17日(木) 18:30～21:00
【場所】大阪市立総合生涯学習センター第5研修室
【講師】林田全弘さん(小さなNPOを応援するデザイナー)
【参加者数】21名(定員20名)

【内容】ミニ講座、ワークショップ、意見交換

- ①いい三つ折りリーフレットの条件、参考事例紹介
- ②ほかの広報媒体にも使えるデザインの3ステップ
- ③明日から役立つラフスケッチの練習ワーク

「誰に、何を伝えるためのリーフレットか」顧客ターゲットと目的を最初に絞り込むことが大切。次に、いきなりパソコンに向かわず、紙にラフを描いてから始めることがポイント。



■エコネット・カフェ

場所:エコネット近畿事務局

・第30回「NPOで働く。地活協で働く」

【開催日時】11月2日(水) 18:30～20:30
【お話し】木村武史さん、西村牧子さん
(榎本地域活動協議会)

【定員】15名

・第31回「若者を巻き込む活動の作り方！～クリスマスに100人がサンタさんに！～」

【開催日時】12月2日(金) 14:30～16:30
【お話し】岡見厚志さん(World Seed)

【定員】15名

・第32回

【開催日時】2017/2/8(金) 18:30～20:30

【お話し】足立哲さん、松田莉奈さん
(いきいき八尾環境フェスティバル学生事務局)

【定員】15名

■環境NPOスキルアップセミナー

場所:大阪市立総合生涯学習センター

■第2回「仲間が集まる！活動が伝わる！共感を生み出す三つ折りリーフレットづくり」第5研修室

【開催日時】11月17日(木) 18:30～21:00
【講師】林田全弘さん

(小さなNPOを応援するデザイナー)

【定員】20名

■第3回「誰に伝え、誰から資金を得るの？顧客管理から学ぶ市民団体の運営方法」第5研修室

【開催日時】12月1日(木) 18:30～21:00
【講師】細谷 崇さん

(NPO情報発信支援や顧客管理システムの伝道者)

【定員】20名

*大阪市NPO・市民活動企画助成事業

■企業と環境NPOの協働セミナー

場所:大阪産業創造館 5階 研修室A・B

【開催日時】2月3日(金) 14:00～16:30

【定員】60名

【事例紹介】・住友ゴム工業株式会社

・TOTO株式会社

・あおぞら財団

・認定NPO法人サービスグラント

